



「ECOPIA H/L 422 Plus」が三菱自動車の新型「アウトランダー」PHEVモデルに新車装着

コア事業を支える「断トツ商品」の拡大
株式会社ブリヂストン

2021年12月20日

株式会社ブリヂストンは、三菱自動車工業株式会社（以下、三菱自動車）が2021年12月16日に発売したクロスオーバーSUV「アウトランダー」プラグインハイブリッドEV（PHEV）モデルの新車装着用タイヤとして、「ECOPIA H/L 422 Plus」（エコピア エイチエル ヨンニーニー プラス）を納入します。

三菱自動車の新型「アウトランダー」PHEVモデルは、三菱自動車の電動化技術と四輪制御技術の粋を集めたフラッグシップモデルです。ボディやシャーシ、パワートレインなどすべてを刷新し、全方位で大幅に進化させています。これらにより、力強い走りやゆとりある居住性と多彩な使い勝手といったSUVとしての魅力、力強く滑らかな加速とあらゆる走行状況で安全・安心な走りといった電動車としての魅力の双方が大幅に高められています。

これまでブリヂストンは、三菱自動車との長年にわたる共創を通じて、同社が様々な車両を通じて提供する価値の実現に貢献してきました。今回、新型「アウトランダー」PHEVモデルに装着される「ECOPIA H/L 422 Plus」は、サステナビリティ、モビリティの進化を見据えた、当社の「断トツ商品」※1の一つです。最新のパタン技術を採用することで高い運動性能と静粛性を両立し、さらに新トレッドゴムとタイヤ骨格部に転がり抵抗を低減する材料を採用することで低燃費性能を向上しています。これにより、新型「アウトランダー」PHEVモデルのSUVおよび電動車としての魅力を最大限に引き出すことに貢献しています。

■納入する新車装着タイヤ

「ECOPIA H/L 422 Plus」※2



タイヤサイズ

255/45R20 101W

■三菱自動車

新型「アウトランダー」PHEVモデル※3



ブリヂストングループは、「2050年 サステナブルなソリューションカンパニーとして社会価値・顧客価値を持続的に提供している会社へ」をビジョンとして掲げ、中期事業計画（2021 - 2023）※4を実行しています。その中核として、バリューチェーン全体でサーキュラーエコノミーの実現やカーボンニュートラル化などへの取り組みとビジネスモデルを連動させる「サステナビリティビジネス構想」※5の実現へ向けた取り組みを加速しています。コア事業であるタイヤ事業においては、EV向けタイヤなど、サステナビリティ、モビリティの進化を見据えた「断トツ商品」の開発を積極的に進めています。今後も、EVなど、様々な車種の性能・魅力を最大限に引き出す新車装着タイヤの開発を通じて、安心・安全で快適な、持続可能なモビリティ社会の実現に貢献していきます。

※1 「断トツ」とは企業としての目標を指します。

※2 ホイールは新車装着品とは異なります。

※3 車両画像は、本ニュースリリース用に当社が三菱自動車工業株式会社より利用許諾を得たものとなります。

転載、転用を一切禁じます。

※4 中期事業計画（2021-2023）進捗

<https://www.bridgestone.co.jp/ir/library/strategy/index.html>

※5 2020年12月22日 ブリヂストン、サステナビリティビジネス構想を発表

<https://www.bridgestone.co.jp/corporate/news/2020122201.html>

https://www.bridgestone.co.jp/ir/library/strategy/pdf/JPN_yearendpressconference2020.pdf